

生活協同組合コープぎふ 2023年度介護職員初任者研修シラバス

細目番号	項目名		講義概要
	開講式・オリエンテーション		
1-1	多様なサービスの理解	講義	介護と介護保険制度の意義について講義を通して学ぶ。個人ワーク、グループワークを通して研修受講の目的を意識付けする
1-2	介護職の仕事内容や働く現場の理解	講義	居宅、施設の多様な働く現場の仕事内容や業務の流れ、地域の福祉の社会資源との連携について、各種の施設にて介護職員が介護業務を行っている様子のDVD視聴、資料等に基づく講義により学ぶ
2-1	人権と尊厳を支える介護	講義	介護に携わる専門職として人権と尊厳を支えるための技術や知識の土台となる基本理念についてテキスト、資料等を通じて学ぶ
2-2	自立に向けた介護	通信	介護サービス提供の基本視点である自立支援、介護予防についてテキスト、資料を通じて学ぶ
3-1	介護職の役割、専門性と多職種との連携	講義	介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性、関連する職種それぞれの役割を理解したうえでの連携による支援の重要性を、テキスト等を通じて学ぶ
3-2	介護職の職業倫理	講義	介護職としての社会的責任や、姿勢についてテキスト、資料等を通じて学ぶ
3-3	介護における安全の確保とリスクマネジメント	通信	介護における安全性の確保についての理解とリスクマネジメント、事故防止対策について学ぶ
3-4	介護職の安全	通信	より良い介護のために介護職の健康管理について学ぶ
4-1	介護保険制度	講義	介護保険制度の概要と、これができる背景、目的、動向及び制度を支える仕組みについて学ぶ
4-2	医療との連携とリハビリテーション	通信	医療行為と介護について、医療職、リハビリテーション職種との連携、役割について学ぶ
4-3	障害者自立支援制度およびその他制度	通信	障害者への介護サービスのための制度や福祉施策、障害者の環境について学ぶ
5-1	介護におけるコミュニケーション	講義	コミュニケーションの意義、目的、役割とその実際について学ぶ 傾聴、共感の応答等で、利用者・家族とのコミュニケーションの実際を学ぶ
5-2	介護におけるチームのコミュニケーション	通信	記録の意義と目的、報告連絡相談等、チームにおけるコミュニケーションを促す環境について学ぶ
5-2	介護におけるチームのコミュニケーション	講義	観察、記録、報告の実際を事例を通じて行い、グループワークにより交流することでより良いチームケアにつながるコミュニケーションの方法を学ぶ
6-1	老化に伴うところとからだの変化と日常	講義	加齢、老化に伴う心身の変化と、社会的、精神的、知的能力面に着目した心理的特徴について学ぶ
6-2	高齢者と健康	講義	高齢者に多い病気と日常生活への影響、留意点について学ぶ
7-1	認知症を取り巻く状況	通信	認知症という病気と認知症の人を理解し、認知症ケアの原則と状況に合わせたケアについて学ぶ
7-2	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	講義	認知症の症状、原因疾患や診断、治療、ケアのポイントや健康管理などについて学ぶ
7-3	認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	講義	認知症による生活障害や行動・心理症状の特徴を理解し、認知症の人の気持ちに配慮した適切な対応のしかたを学ぶ
7-4	家族への支援	通信	認知症の人を介護する家族の思いや介護負担に配慮した専門的ケアの基本姿勢について学ぶ
8-1	障害の基礎的理解	通信	障害の概念とICFについて、障害者福祉の基本的な考え方について学ぶ
8-2	障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	講義	各障害の内容、特徴、及び障害に応じた社会支援や介護上の留意点について学ぶ
8-3	家族の心理、かかわり支援の理解	通信	障害者を抱える家族のストレスや受容への支援、介護負担の軽減について学ぶ
9-1	介護の基本的な考え方	講義	ICFの視点に基づく介護と介護における法令遵守の必要性を学ぶ
9-2	介護に関するところのしくみの基礎的理解	講義	加齢に伴う心身の変化と、心理面に配慮した意欲を喚起の支援について学ぶ
9-3	介護に関するからだのしくみの基礎的理解	講義	身体の構造や運動動作の機能についての基礎知識をDVD視聴や資料を通して実際の体の動きを確認しながら学ぶ
9-4	生活と家事	通信	生活と家事を理解し、家事援助に関する基礎的知識と自立支援に着目した生活支援について学ぶ
9-5	快適な居住環境整備と介護	講義	利用者の身体状況に配慮した安全で快適な住環境整備と福祉用具の活用について資料及び、特殊寝台、車いす、杖、歩行器の実物を確認しながら学ぶ
9-6	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	講義	心身の状況に応じた洗面、衣類着脱の意義について資料、テキスト、DVD視聴を通じて学ぶ
9-6	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	演習	方麻痺等障害を設定しての座位でのパジャマの着脱介助、ベッド上のパジャマ、和式寝巻きの交換の介助を受講生同士交代で実際に行い、安楽で安全かつ尊厳に配慮した介助方法を学ぶ。また介助される側の気持ちを体験する

9-7	移動・移乗に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	講義	移動、移乗介護の意義、目的、残存能力の活用、自立支援、ボディメカニクスの原理、活用について資料、テキスト、DVD視聴を通じて学ぶ
9-7	移動・移乗に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	演習	特殊寝台、介助式、自走式車椅子ほか各種移動補助用具(歩行器、各種の杖等)を実際に使用しての移動介助の実技演習をを交代で行う。ベッド上の平行移動、体位変換、ベッド・車椅子間やベッドポータブルトイレ間の移乗、杖歩行介助、視覚障害者の歩行介助、車椅子での屋内外の移動を受講生同士交代で実際に行い、安楽で安全かつ尊厳に配慮した介助方法を学ぶ。また介助される側の気持ちを体験する
9-8	食事に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	講義	生活における食事の意味、嚥下、食事摂取のしくみ、加齢や障害に伴う症状と食事介助の方法及び口腔ケアについて資料、テキスト、DVD視聴を通じて学ぶ。自助具や介助用具等を展示、使用方法を学ぶ
9-8	食事に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	演習	心身の状況に応じ安全で安楽かつ尊厳に配慮した意欲を喚起でき栄養の確保を目指す食事介助、口腔ケアの実技演習を行う。視覚障害者の食事介助、ベッド上及び座位での全介助による食事介助、水分補給、口腔ケアの介助を受講生同士交代で、行い、介助する側、される側を体験する。介護食、トロミ剤を試食する。自助具を使用したの食事を体験する。
9-9	入浴、清潔保持に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	講義	心身の状況に応じた入浴と清潔保持に関する基礎知識を学ぶ。入浴用具、整容用具の活用や介助方法をテキスト、資料、DVDを通じて学ぶ
9-9	入浴、清潔保持に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	演習	心身の状況や住宅環境に応じ、安全で安楽かつ尊厳に配慮した、入浴、部分浴、洗髪、清拭介助の実技演習を行う。片麻痺利用者の浴槽出入り介助、洗身介助を浴槽を使用し着衣で受講生同士介助しあう。受講生各自でケリーパッドを作成し、ベッド上の洗髪を受講生同士交代で湯とシャンプーを使用して介助しあう。足浴、手浴を、湯、石鹸を使用して受講生同士介助しあう。浴槽、シャワーチェア、特殊寝台、洗面用具ほか入浴補助用具を使用する。また介助される側の気持ちを体験する
9-10	排泄に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	講義	排泄の意義、メカニズム、排泄障害、失禁の種類について、環境整備、用具の活用や介助方法をテキスト、資料、DVDを通じて学ぶ。予め配布した紙オムツで自宅にてオムツ内排泄を体験し、レポートを提出、交流する。
9-10	排泄に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	演習	紙オムツ、パッドを使用したのベッド上でのオムツ交換、陰部洗浄、差し込み便器による排泄介助、車椅子からポータブルトイレへ移譲しての排泄介助、障害者用トイレでのトイレ介助、を着衣で受講生同交替で介助しあう。ポータブルトイレ、紙オムツ各種、陰部洗浄用具、を使用する。布製オムツカバーの着脱を体験する。介助される側の気持ちを体験する。
9-11	睡眠に関したところからのしくみと自立に向けた介護	講義	睡眠に関する基礎知識、睡眠環境と用具の活用、睡眠阻害要因と支援方法についてテキスト、資料を通じて学ぶ
9-11	睡眠に関したところからのしくみと自立に向けた介護	演習	室温、明るさ、静かさ等快適な睡眠を確保するための環境づくりを実際に体験する。フラットシーツのたたみ方とたたみ方に即した交換方法、毛布やシーツのセット方法を実際に行って学ぶ。ベッド上に人がいる状態での安全で安楽なシーツ交換方法を受講生同士交代で介助しあう。
9-12	死にゆく人に関したところからのしくみと終末期介護	講義 通信	生活の場で安楽な尊厳のある最期を迎えられるよう終末期ケアの実際についてテキスト、資料、終末期ケアについて考察を交え、学ぶ
9-12	死にゆく人に関したところからのしくみと終末期介護	通信	安楽で尊厳のある最期を迎えられるため受けたい、行いたい、家族として支援されたい終末期ケアを学ぶ
9-13	介護過程の基礎的理解	講義	インテークからアセスメントを経て計画作成、実践、評価といった介護過程の目的、意義をテキスト、資料を通じて学ぶ
9-13	介護過程の基礎的理解	演習	事例によりアセスメントを各自行い、グループワークにて交流する。介護の実践とそれによる結果との関連を学ぶ。
9-14	総合生活支援技術演習	演習	事例を想定し、状態像の把握、課題の引き出し、必要と思われる支援の分析、設定を個人ワーク、グループワークにて演習する。
10-1	振り返り	講義	これまでの全課程にわたりそれぞれの項目で学んだこと、これからも学ぶこと、介護の要点についてまとめ、振り返る
10-2	就業への備えと研修修了後における継続的な研修	講義	仕事の現場、事例を紹介し、就業への備えやモチベーションをたかめられるようにする
	振り返り・補習		研修を通して学んだこと、これからも学ぶこと、介護の要点についてまとめ、振り返る、必要に応じて補習を行う
	筆記試験		これまで学んだ全課程より出題し、筆記試験を行う
	補習・追試(該当者のみ)		筆記試験不合格者に対し、補習と追試を行う
	修了式		修了証書発行、引き継ぎ交流会、くらしすけあいの会、福祉事業の紹介、説明を行う